



「3年生を送る会まであとわずか！」

3年生を送る会に向けて、1・2年生は、準備を進めているところですが、2月18日（水）に3年生は入試の中、歌の練習を中心に頑張っていました。30人程度と入試でかなりの人数が抜けていましたが、パート練習や合わせなどを行っていました。

柏井先生の温かい指導を仰ぎながら、五十嵐先生の熱いメッセージから練習が始まりました。その後、パートに別れ、松本先生の音楽的な助言や佐藤先生、小野先生、齋藤先生の支えを受けながら、よく頑張っていました。合唱祭を思い出させるような歌声は、さすが3年生だなあと感じました。

送る会当日、そして「第46回 卒業式」に向けて、最後の勇姿を見せてください。

本校教職員と1・2年生は、3年生が気持ちよく旅立つことができるように、全力で応援します。



3年生を送る会の意味とは？

この行事は、「在校生が感謝と敬意を表し、門出（卒業・各々の新しい世界への旅立ち）を祝福する行事」とされ、生徒会や1・2年生が中心となって、映像や歌、踊り、メッセージなどを作成・練習し、3年生に良き思い出を送る交流の場にもなっています。

また、在校生が、「次期最高学年になる」という自覚をもつ行事でもあります。現在、1・2年生は、当日に向けてフル回転で頑張っているところですが、時に「この会を実施する意味」に立ち返ることも大切であると思います。

さらには、私の個人的な思いとしては、体育祭や合唱祭など、「賞」のある行事で頑張ることも大切ですが、「賞」のない・優劣のつかない、こういった行事でどれだけ頑張ることができるのかが、「真の姿」であると思っています。

在校生は、3年生のために、3年生は、後輩や本校の職員、保護者、地域でお世話になった方々のためにという気持ちをもって、送る会に臨んでほしいと願っています。

本番は、2月27日（金）ということで、あとわずかになりました。期待しています。

心をひとつに！